

平成 26 年 10 月 10 日

羽田空港の空弁「東北復興弁当」販売累計 56,000 食を超え
寄付金 2,800,000 円が集まりました。
東北復興支援のため、皆様のご支援金が東北地区で奮闘する 4 団体に寄贈されました。

東北復興を支援するため、日本エアポートデリカ株式会社（東京都大田区 代表取締役社長 永井英和）と、Yahoo! JAPAN 運営の「復興デパートメント」が共同開発した「東北復興弁当」が、平成 25 年 4 月 1 日の販売開始から平成 26 年 7 月 31 日までの 1 年 4 カ月間で 56,000 人以上のお客様にお買上げいただき羽田空港から東北復興支援のために役立てられることになりました。

羽田空港は、日本全国から、また、世界中の人々が行き交い、多くのお客様がご利用されています。この「東北復興弁当」は、お客様一人おひとりの温かいご支援により弁当 1 個の販売につき 50 円が東北復興支援のために寄付され、寄付金計 2,800,000 円（※）が集まりました。

このたび、東日本大震災から 3 年半目にあたる平成 26 年 9 月 9 日～10 日に被災地のひとつである宮城県に現地訪問し、復興支援活動をされている 4 団体に、直接寄贈いたしました。

まだまだ、被災地は多くの方のお力添えを必要としております。

今後も、「東北復興弁当」を通じて、被災地の皆様に応援し、東北地方の食材を活かした美味しいお弁当を皆様にお届けし続けることで、東北復興支援に貢献してまいります。

販売集計期間：平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 7 月 31 日（※現在も販売継続中）

販売累計数：56,732 個

寄付金総額：※ 2,836,600 円（うち 2,800,000 円を今回寄贈し、36,600 円は次回寄贈分として継続保管）



東北復興弁当



商品 1 個お買上げにつき
50 円が東北復興支援のため
に寄付いたします。

食べて復興 おいしく復興

東北復興弁当はお客様をはじめ、販売パートナー
企業さまと連携し販促活動を行っています。

- ・お弁当をお買上げの全てのお客様
- ・Yahoo! JAPAN
- ・株式会社 JALUX
- ・日本空港ビルディング株式会社
- ・東京エアポートレストラン株式会社
- ・株式会社 JALUX エアポート
- ・株式会社佐々木商店（敬称略 順不同）

寄贈先 4 団体

- ・一般社団法人フィッシャーマンジャパン様 700,000 円
 - ・公益社団法人 sweet treat 311 様 700,000 円
 - ・公益財団法人みちのく未来基金 様 700,000 円
 - ・OECD 東北スクール 様 700,000 円
- 計 2,800,000 円

（敬称略 順不同）

本件に関するお問い合わせ先
日本エアポートデリカ株式会社
管理部 03-5708-7788（深野/田中）



一般社団法人フィッシャーマンジャパン様
写真右：商品開発事業部 鈴木 真吾 様

三陸の海の資源を大切に思う若い世代が頑張る団体に寄贈。

一般社団法人フィッシャーマンジャパン 様

<http://fishermanjapan.com/>

世界三大漁場の海をフィールドに活躍する三陸の若きフィッシャーマンたちが、地域や業種の枠を超えて、世界に向けて、次世代へと続く未来の水産業の形を提案していく最強のチームを結成いたしました。漁師はつくるだけでなく市場のニーズをしっかりと把握し、更なる品質向上を目指しています。個々が変化し続ける力を身につけ、まずは自分たちが「真にカッコよくて稼げるフィッシャーマン」になり、未来の世代が憧れる水産業の形を目指しております。



公益社団法人 sweet treat 311 様
雄勝 学校再生プロジェクト
写真左：理事 油井 元太郎 様

三陸の地域コミュニティを大切に思う頑張る団体に寄贈。

公益社団法人 sweet treat 311 様

<http://ogatsusaisei.jp/>

築 90 年、廃校となって 12 年が経つ旧桑浜小学校。雄勝湾を見下ろす高台に建つ、雄勝硯を使ったスレート屋根が特徴的な美しい佇まいの木造校舎を、新しい学び舎として再生する「雄勝学校再生プロジェクト」。全国及び世界からも、のべ 1,200 人以上のボランティアが参加。海と山が繋がる豊かな自然の中での農林漁業や、そこで育まれる食材を使った料理、木を使った木工などの体験を通じて水やエネルギーの循環を体感し、逞しく生きる力を育むことを目指しています。



公益財団法人みちのく未来基金 様
写真右：職員 北岡 裕治 様

東北で被災された震災遺児を大切に思う団体に寄贈

公益財団法人みちのく未来基金 様

<http://michinoku-mirai.org/>

3.11 東日本大震災は日本人一人ひとりに多くの宿題を残し、「未曾有の」とか「想定を超える」とかの言葉が飛び交い、多くの子供たちが愛する親を失いました。子供達は今、進学や夢や希望を諦めようとしています。真にこの復興の礎となるべき子供達が、その夢や希望を諦めずに成長し、故郷の復興の為に役立って欲しい。最後の進学希望者が卒業するまで 四半世紀にも及ぶ大変長い活動になりますが、同じ様な志を持つ多くの皆さんと、支援の輪を広げながら歩んでいます。



OECD 東北スクール 様
写真右：生徒 小山 結有 様

東北で被災された生徒を大切に思う団体に寄贈。

OECD 東北スクール 様

<http://oecdtohokuschool.sub.jp/>

2011 年 3 月 11 日、東北一帯を巨大地震が襲い、死者・行方不明者約 2 万人という甚大な被害。同年 4 月、OECD（経済協力開発機構、本部パリ）事務総長が来日、東北の復興に協力することを約束。文部科学省、福島大学と協議を重ね、復興教育プロジェクト「OECD 東北スクール」（文部科学省復興教育支援委託事業）が誕生。福島、宮城、岩手の被災地から中・高校生約 100 人を集め、「世界にアピールするイベントを作る」という、プロジェクト学習を推進中。

【ポスター】



お客様の心を 東北復興へ。



東北復興弁当

お弁当1個につき50円が被災地の
復興支援活動に寄付されます。

日本エアポートデリカ Yahoo! JAPAN 共同開発

羽田空港の空弁「東北復興弁当」販売累計 **56,000食** を超え

寄付金 **2,800,000円** が集まりました。

東北復興支援のため、皆様のご支援金が東北地区で奮闘する4団体に寄贈されました。

※販売集計期間:平成25年4月1日~平成 日~平成26年7月31日(現在も販売継続中)



一般社団法人フィッシャーマンジャパン 様



公益社団法人sweet treat 311 様



公益財団法人みちのく未来基金 様



OECD 東北スクール 様

本製品をお買い上げ頂きました全てのお客様へ感謝申し上げます。